

ほっかいどう N I E 通信

Newspaper in Education



発行 北海道 NIE 推進協議会

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内 ☎011-210-5802 FAX011-210-5826

北海道新聞ホームページ「NIE」(<https://nie.hokkaido-np.co.jp/>)でバックナンバーから閲覧できます

三浦綾子記念文学館の周りに広がる外国樹種見本の緑に囲まれ談笑する田中綾さん(右)と菊池安吉さん(旭川市)



北海学園大学教授

田中 綾さん

N I E 札幌大会 特別対談

北海道N I E推進協議会会長

菊池 安吉さん

——新聞とどう関わって
きたか聞かせてください。
菊池 新聞は配達制度が



学校教育に情報通信技術(ICT)が急速に普及する中、情報を読み解く力を養う上で新聞の役割はなお大きい。新聞を取り巻く現状や新聞を教材にした教育(NIE)を通して、新聞だからこそできる学びについて、全道高校新聞コンクール審査委員長の経験もある北海学園大学教授の田中綾さん(三浦綾子記念文学館館長)と中学校教諭の経験が長く旭川市内の校長を務めた菊池安吉さん(北海道NIE推進協議会会長)に語り合ってもらった。(記事と写真は北海道新聞社提供)

新聞だからこそその学び

すっかりしてきて毎日、届きます。最初に勤めたのは道内のへき地校でしたが、情報が不足していた時代、社会科の教員として、教科書に書いてあることだけでなく、現実で何が起きているかを子供たちに伝える点で役立ちました。
田中 父が短期大学の教

文学館館長の立場からすると、三浦綾子さんは朝日新聞の懸賞小説に入選。旭川を舞台にした「氷点」でデビューしました。作品は1年間ずっと朝日に載りました。さらに小説「泥流地帯」は北海道新聞に連載されました。三浦文学を語るには新聞という場がとても重要な存在です。
——田中さんは通勤中でも新聞を手放さないと伺っていますが。
田中 新聞がないと私は生活ができないんです。テレビのない生活をもう15年間送っています。見たら面白いので洗脳されるような危機感があります。だから新聞、ラジオがないとニュースは一切分からない状態です。2011年の東日本

大震災も皆が知っているあの津波映像が全く分からずにいました。ラジオでまず聞き、朝刊が届いて、実際の被害状況を知りました。
——関心ある分野や印象に残る記事はありますか。
菊池 国際面に関心がありますね。今、アフリカのコロナってどうなっているんだとか、(私が日本人学校の教師でいた)スペインもちょっと大変そうだなと思いつつ読んでいます。
田中 私はバックパッカー世代です。アルバイトをしてお金をためたら海外旅行に出かけました。アジアが大好きなので、行き先は主にベトナムや中国でした。ところが今、学生を見ると海外旅行に行く気配がない。もったいないと思いますね。私は学生に意図的に海外の記事を読んでもらいます。日本を知るには海外という鏡がないと見えてこないからです。

菊池 中高生の時期に、海外のニュースに触れられるかどうかで、その後のいろんなことに影響するかもしれないですね。生徒は自分とゲームをする仲間さえいればそれでいいみたいな感じもあります。新聞を取る家庭は減っているけど、まだ意外と取られている。うまく新聞に興味を持ってくれたらと思っていますが、NIEに携わる者として歯がゆいです。
——北海道教育大学旭川

2面に続く

校で教えることもありま
ね。同じですか。
菊池 そうですね。僕が
新聞を持って行って授業を
やったら、学生はふだん新
聞を読んでいるだけに表
情が新鮮で食いつきもい
い。
——田中さんの大学では
どうでしょうか。
田中 大学で私がアンケ
ートをしたんですが、自宅
で家族が新聞購読してい
うのが53%。というこ
とは半数がもしかしらほ
んど新聞に出合わないで
卒業しているかもしれない。
「氷点」を説明する際、
肝心の「新聞小説」とい
言葉の意味が分からない学
生がいます。夏目漱石は
ほとんどが新聞小説で、あ
んなにすごい小説が新聞に
表されていただけです。松
本清張もそうです。そう
した文化がなかなか伝わ
ないことに危機感を持って
います。小中学校で新聞に
合うNIEの必要性を実感
します。

なぜ新聞なのか

菊池さん 「18歳選挙権」意識育てる 田中さん 「両論併記」討論の素材に

——田中さんは大学のゼ
ミで新聞を使っていると聞
いています。
田中 新聞記事を読んで
発想を得て短編小説を書い
てもらおうという試みを始め
ました。学生に新聞記事に
出合ってもらう一つのきつ
かけになったかなと思いま
した。とても面白く、今後
も続けていきます。
——田中さんは2年間
（2018、19年度、全道
高校新聞コンクール審査委
員長を務めました。
田中 各校の新聞の完成
度が高くてびっくりしまし
た。具体的な学校名を挙げ
ると、旭川工業高は本当に
素晴らしかった。「18歳選
挙権」で生徒は投票に行っ
たのか、行かなかったのか。
円グラフで表し、その理由
を述べる。調べると（各種
選挙が相次ぎ）当初は（投
票率も高かったけれど）も
だんだん下がっていく傾向
が分かってきました。高校生
の問題意識がよく描けていま
した。一方で登別青嶺高は
通学で使うバス停が夜、暗
いので「あかりをつけてく
ださい」と紙面化しました。
なぜ暗いのかということ
行政などに質問することか
ら始まったんです。同じバ
ス停を使う小中学生にもア
ンケートし、住民の話を聞
き1年ほどで外灯がつきま
した。地域社会を変えた明
るい記事の紙面には審査員
全員が拍手しました。

——生徒たちが取り上げ
てますが、18歳選挙権はや
はり大きなテーマですね。
菊池 中学3年生だと投
票まであと3年。18歳選挙
権を得た時に、選ぶ物差し
を持っているのか。新聞を
使い問題意識を持つてら
う。教育大学でも感じます。
多くが教員を目指すなら、
もうちよつと問題意識を持
ってほしいですね。
田中 おっしゃる通り。
18歳で投票しても19歳から
投票率が落ちる。社会が
変わるわけでもない。手応え
がなく投票所に行かなくな
るのかも。せつかくの選挙
権を得たのに、投票をしな
ければ何も変わりません。
——メディアとして新聞
だけが持つ特徴は何ですか。
田中 新聞ではニュース
に対し賛成反対の意見を出
します。多くの大学生がニ
ュースを見て済みます。ネッ
トなどとは違います。新聞紙
面で異なる意見が並ぶ中、
考える材料に使えます。こ
うした両論併記の欄を強化

3面に続く



その復興を描いた。

18歳選挙権 少子高齢化や人口減などから、次代を担う若者に社会の担い手である意識を持たせることなどを目的に、2016年に選挙権年齢が引き下げられた。高3生の一部が選挙権を持つことにな

り、政治や社会問題について自ら考え判断し、行動するための力を養う主権者教育の重要性が増した。高校で22年度から段階的に施行される新学習指導要領で、主権者教育を取り入れた「公共」が必修科目として新設された。18歳選挙権が国政選挙で初めて導入された16年参院選で、道内の18、19歳の投票率は43.38%。

道内の全体平均を10割以上も下回った。また、成人年齢は22年4月から18歳に引き下げられる。

全道高校新聞コンクール 道内の高校新聞部（局）の活動の広がりや紙面内容の向上を目指し、1957年度から高文連が

菊池さん 地元記事から地域を知る

田中さん 国会図書館のDBも利用

広がる学びの幅

ましいでしょう。

——菊池さんはどうお考
えてですか。
菊池 紙媒体の良さは一
覧性。広げて読むと、紙面
の隅の意外な記事に出合
えます。しかも新聞社はチ
ェック機能に優れ、記事に
信頼性がある。自分の興味
心だけで検索するネットの
情報は玉石混交。情報を見
極めるメディアリテラシー
を育てる大切さを痛切に感
じます。

田中 大学生で新聞を読
み始めるのは遅いと感じ
ます。中学高校でしっかり
やらないと。新聞はディ
ベート（討論）の素材にな
ります。対比した意見を読み
どつちに自分が近いかを考
えることに新聞が使える。
1年生の基礎ゼミなどで
ディベートを行う大学もあ
ります。中学高校でもディ
ベートの授業を体験する。教
育現場で新聞を使ったメ
ディアリテラシー、ディ
ベートの両方を体験するのが望

富良野地域面で「泥流地
帯」を映画にしよう」とい
うタイトルの記事がよく取
り上げられています。
田中 「泥流地帯」は大
正泥流を主題にしたかなり
の長編なので、文学館が短
くし、朗読劇にしました。
上富良野高の生徒ら5人が
登場し、この文学館で朗読
しました。そのことが富良
野の地域面で取り上げられ
て、上富良野の中学生が地
域の歴史を知り、それを手
がかりにまた記事になる。
地域のことを深める機会に
なっています。上富良野町
は防災教育に力を入れてい
ますしね。
菊池 防災教育は今後の

富良野地域面で「泥流地
帯」を映画にしよう」とい
うタイトルの記事がよく取
り上げられています。
田中 「泥流地帯」は大
正泥流を主題にしたかなり
の長編なので、文学館が短
くし、朗読劇にしました。
上富良野高の生徒ら5人が
登場し、この文学館で朗読
しました。そのことが富良
野の地域面で取り上げられ
て、上富良野の中学生が地
域の歴史を知り、それを手
がかりにまた記事になる。
地域のことを深める機会に
なっています。上富良野町
は防災教育に力を入れてい
ますしね。
菊池 防災教育は今後の

重点テーマの一つです。
——記事が地域学習に役
立ちますか。
田中 新聞は文学館と上
富良野町をつなぐ役割が確
実にあります。映画撮影の
ロケは当初の今夏からは延
期になりますが、新聞記事
を子供たちに読んでもらえ
たら「こんなすこいところ
に住んでいるんだ」と郷土
の誇りになりますよ。
菊池 北海道は広いから
全道面だけでなく、地域面
の記事は、例えば小学校高
学年とか中学生が総合的な
学習で地域の産業を学ぶな
ど何にでも、使いやすいく
思う。それは強みですね。
——コロナ禍で学校の風
景はどう変わりましたか。

田中 オンライン化は定
着しましたね。授業やゼミ
もオンライン会議システム
でできてしまい、それが日
常になりました。通勤、通
学の回数も減り自宅学習
ができます。教員も学生に
対しデータベース（DB）
などを推奨します。ネッ
トで検索や閲覧ができる資
料の宝庫・国会図書館デジ
タルコレクションを活用す
る機会も増えました。

4面に続く

三浦綾子（1922～99年） 作家。若い
ころから数々の病気を乗り越え、キリス
ト者の信念に基づいて「いかに生きるか」
を問う「光と愛といのちの文学」を築い
た。1964年に朝日新聞の一千万円懸賞小
説で、人間の原罪をテーマにした「氷点」
が入選し、本格的に作家活動を始めた。
歌人でもある夫の光世さんが常に寄り添

う「二人三脚、の夫婦愛で知られた。出
身の旭川市に「三浦綾子記念文学館」が
ある。「塩狩峠」「銃口」など著書多数。
70年代、北海道新聞日曜版に掲載された
「泥流地帯」「続泥流地帯」は、26年（大
正15年）5月24日に起きた十勝岳大噴火
を取り上げ、「大正泥流」による上富良野
町内での死者・行方不明者137人の惨事と

——そこに新聞がどうい
うふうに関わればいいでし
よか。

田中 新聞紙面にQRコ
ードを見かけますが、あれ
は重要です。今、みんなス
マホを持ってるので、読
み取って、ウェブサイトの
情報を見てもっと詳しくニ
ュースを知ることができ
る。小学校の教科書にもQ
Rコードが付いていますね。

菊池 中学校の教科書に
もついています。

田中 中学校ですか。

菊池 去年から小学校、
今年から中学校。教科書が
変わりました。

田中 私、講義資料に
いくつもQRコードをつけ
てリンクを張って、国会図
書館などにつなげています。
新聞でもQRコードで紙面
プラスアルファの情報が入
ると実践的だと思います。

——新聞社のデジタルツ
ールは電子版の他にもあり
ます。データベースは広く
知られていますか？

田中 大学では1年生に
図書館の使い方を伝えると
きに、デジタルの新聞複数
紙とリンクさせ、気になっ
た記事の感想文をリポート
として課しています。図書
館と新聞は今後さらに、結
びつきを強くしていくとい
いでしょうね。

菊池 そうですね。今回
の全国大会も「学校図書館
とNIE」のプログラムが
あります。北海道は図書館
司書がすごく頑張っていま
す。子供たちに図書館の本
も読んでほしいんだけど、



菊池安吉さん



田中綾さん

新聞記事も上手に見てもら
うような工夫を懸命にやつ
てくれているんですよ。

——図書館司書のサポー
トがあると、いろんな学び
の可能性が増えますね。

菊池 将来的には図書館
を拠点に調べ学習につなげ
る形が整ってくればいい
んですが、まだまだ入り口
ですね。20年ほど前、道教
委の教育視察で米国テキサ
スへ行き、学校図書館を見
学しました。図書館には普
通にパソコンが置かれ、司
書が「ここから調べ学習が

変わったことは現場の人た
ちが分かっていますね。従来
は本の貸し出しがもつばら
でしたが、今は情報の集め
方、出し入れの仕方、それ
を伝えるのが一番大きな役
割です。新聞の効果的な使
い方は、司書こそ詳しいの
ではないでしょうか。

菊池 新聞を絡めて図書
館司書の人と、国語の先生
や社会科、理科の先生が連
携しこんな記事ない？と
か、科学はこんな記事が欲
しいんだけどって相談に乗
ってくれたら、新聞記事が

にした、3年の後期とかで
すね。大学の授業でも、新
聞をもっと活用しなければ
と思います。

——菊池さんは、NIE
の最前線に立っています
が、大会で北海道らしさを
どういふふう発信するの
でしょうか。

菊池 北海道内のみなら
ず、アイヌの人たちの文化
や権利を、どうやって授業
化するかというのは大事に
したいポイントなんです
ね。テレビの情報番組で差
別発言があった現実を考え
ると、丁寧に中学、高校時
代に人権も含めて学ぶこと
が大事です。その授業を積

学校図書館との連携

菊池さん 将来は調べ学習の拠点に

田中さん 司書こそ詳しい新聞活用

できるんですよ」と言っ
ていました。日本はまだそん
な考えが、みじんもなかつ
た時代です。驚きました。
田中 米国は日本と比べ
て、電子データを保存した
デジタルアーカイブに対す
る意識が全然違いますね。
資料は重要。情報こそ国民
に真理を与えようという意
識が高い。

菊池 図書館に新聞も配
備されていたんですよ。棚
に置かれた新聞に、僕はび
っくりしました。
田中 北海学園大学に図
書館学課程があり、私の教
え子も司書として道内で働
いています。司書の役割が

さらに効果的に使えます。
——今大会のスローガン
は「新しい学びを創るNIE
」家庭、教室、地域をむ
すぶる。新しい学びって、
どういう学びだとお考えで
すか？
田中 国内の大学全体を
見ると、教養部が廃止にな
ってから非常に弊害がある
んですね。1、2年生でし
っかりと一般教養を身につ
けることがなくなつたため
自分の領域しか関心がなく
なっているんです。新聞を
一面から最後まで全部読む
作業を1年生くらいから身
に付けてほしい。でも新聞
を意識するのは就活を目前
にしたら、3年の後期とかで
すね。大学の授業でも、新
聞をもっと活用しなければ
と思います。